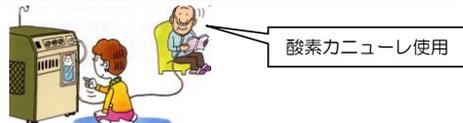


居宅介護支援事業所	ケアマネジャー（介護支援専門員）によるケアプランの作成や、介護事業者との連絡調整・紹介などを行うサービスを行う窓口である。介護保険法に基づき、中立公平な立場で利用者や家族を支援する。	
グリーフケア	身近な人と死別して悲嘆に暮れる人が、その悲しみから立ち直れるよう傍らにいて支援すること。相手に寄り添う姿勢が大切である。グリーフとは、深い悲しみという意味。	
ケアマネジメント	医療福祉分野で使われる用語で、医療と福祉などのサービスと、それを必要とする人のニーズをつなぐ手法のことを指す。ケアマネジメントを行う従事者をケアマネジャー（介護支援専門員）と呼ぶ。	
ケアマネジャー（CM）	介護保険法において、要介護認定を受けた人からの相談を受けて、居宅サービス計画（ケアプラン）を作成し、医療・介護・福祉の事業者等と連絡、調整等を取りまとめる者。正式名称は介護支援専門員。通称ケアマネジャー。略称ケアマネ。	
ケースカンファレンス	事例検討会のこと。サービス提供に関わっている職種が集まって、実際にあった事例を用いて検討する会議のこと。	
経管経腸栄養 （胃瘻・腸瘻・食道瘻）	<p>口から食べられなくなった患者さんに対し消化管に管を留置し栄養を摂る方法。鼻から管を通す経鼻栄養や胃と腹壁に穴を開けて管を通す胃ろうなどがある。</p> <p>経鼻栄養。 チューブによる鼻の潰瘍（創）に注意！ 胃内容物の口への逆流による誤嚥性肺炎に注意！</p>  <p>胃ろう</p> <p>腸は外界からの病原体の進入を食い止める最大の免疫器官といわれています。腸管を使用しなければ免疫細胞は萎縮して役割を果たすことができなくなります。免疫力(自分で自分を守る力)を維持するためには、腸から栄養を吸収することが重要になってきます。在宅で遭遇するケースは、経鼻・胃瘻からの栄養が主体になってきます。</p> <p>付記（ケアポイント）</p>	
構音障害	<p>言葉を発するための発音に必要な、舌、唇、頬、歯などの動きが悪く、ろれつが回っていないこと。</p> <p>付記（ケアポイント） 脳血管障害の後遺症の一つ。</p>	
抗がん剤	がん細胞に直接または間接的に作用して、がん細胞の増殖を抑制し、死滅させる薬剤。投与方法は、直接血管内に抗がん剤を投与する点滴による静脈注射と錠剤の飲み薬がある。抗がん剤は、がん細胞だけでなく、正常細胞のうちでも細胞分裂の早い細胞にもその毒性影響を及ぼすため、白血球減少・脱毛・吐き気などの副作用を起こす。	
誤嚥性肺炎	<p>脳卒中や全身麻痺、あるいは麻痺などの症状のない脳梗塞において、神経伝達物質の欠乏によって、咳反射や嚥下反射の神経活動が低下して起こる。知らない間に細菌が唾液とともに肺に流れ込み、この細菌が肺の中で増殖して肺炎となる。また、胃液などの消化液が食べ物とともに食道を逆流して肺に流れ込むことで起こる場合もある。</p> <p>付記（ケアポイント） 口腔ケアは、誤嚥性肺炎予防で最も重要であると言われています。効果的な口腔ケアの手技をマスターしておきましょう。</p>	
コミュニティケア	高齢者や障がいのある人など、生活問題を抱えたさまざまな人が、可能な限り施設に入所せず「地域」で暮らすことができるように、在宅でサービスを提供すること。	
さ	サービス担当者会議	ケアマネジャーが、ケアプランの作成や変更を行う際に、サービスを利用する本人やその家族、サービス事業者などが一堂に会して、話し合いの場を持つこと。開催の連絡調整や会議の司会進行、利用者への説明や記録などもケアマネジャーが担当する。話し合った内容から、新しいケアプランの基で介護サービス等を受けることとなる。カンファレンスやケアカンファレンスと呼ぶこともある。
	在宅医療	身体の状況や疾患等の理由により、通院が困難となった患者さんの自宅や老人施設に、医師等の医療者が訪問をして医療（定期的な訪問診療と、急変時の往診）を行うこと。在宅医療を受ける頻度の高い疾患は、脳血管障害・認知症・神経障害。
	在宅酸素療法（HOT）	<p>自宅で酸素療法をすることで、通称HOT（ホット）と呼ばれる。在宅酸素療法の目的は大別して二つあり、一つは酸素を吸入することで、呼吸困難を軽くし、生活活動の範囲を広げようとする目的。もう一つは、たとえ呼吸困難がなくても、慢性的な酸素不足のために、特に心臓を中心としたさまざまな内臓の働きに障害が生じることを予防する目的がある。</p> <p>付記（ケアポイント）</p>  <p>酸素カニューレ使用</p>